

失われてしまった天然記念物

天然記念物は、周辺環境の変化や寿命などにより失われてしまうものがあります。町内にも以前は国や県に指定されていましたが、解除となってしまったものがあります。

No.0000 神流川溪谷のムカデラン自生北限地



ムカデランはラン科の多年草。関東地方以西の暖かい場所の樹皮や岩面に着生する。自生地は少なく群生することは稀である。6～7月頃に淡紅色の小さな花を咲かせる。多数並列する葉をムカデの足に例えて、「ムカデラン」と呼ばれている。

かつては本州の自生北限地として神泉村矢納と群馬県鬼石町保美濃山(藤岡市)が国の天然記念物に指定されていたが、下久保ダム建設によって水没し指定解除となった。

参考 秩父市てんぐ岩のムカデラン(秩父市教育委員会提供)

No.0000 水上の大棕

写真なし

「水上の大棕」として昭和16年に大字渡瀬地内にあった棕が指定されていたが、戦後に枯れ伐採された記録が残っている。記録では指定年月日と枯れてしまったことしか分からず、写真や指定の理由が不明となっている。

WANTED

「水上の大棕」についてご存知の方は文化財事務所まで情報提供をお願いします。

『文化財を守っていくために』

文化財は、一度失ってしまうと決して元に戻すことはできません。もしも失われてしまう文化財がある場合は、調査や記録を行い、未来へと伝えていく必要があります。そのためには地域の皆さんが文化財の存在を知り、町全体で守っていく意識を持つことが大切です。

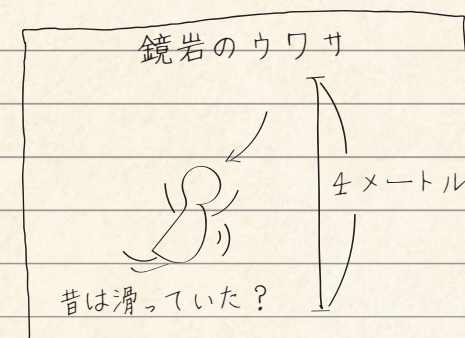
町内の文化財について知りたいことやお気づきのことがありましたら教育委員会の文化財担当までお気軽にご連絡ください。また、多目的交流施設や中央公民館では町の文化財を展示しています。ご興味のある方はぜひお越しください。



分類 特別天然記念物(昭和31年指定)
レア度 ★★★★★
属性 地質鉱物
所在地 御嶽山中腹

約1億年前に関東平野と山地の境にできた活断層のすべり面で、摩擦によって表面が鏡のように磨かれている。岩面の大きさは、高さ約4メートル、幅約9メートル、約30度の傾斜がある。岩質は赤鉄石英片岩で、岩面の大きさや、断層の方向がわかることから地質学的に貴重である。

No.0003 御嶽の鏡岩



鏡岩は古くから人々に知られ、江戸時代に記された『遊歴雑記』には、鏡岩に向えば「人影顔面の皺まで明細にうつりて、恰も姿見の明鏡にむかふがごとし」と記述がある。鏡のように物の姿を映すということから、鏡岩と呼ばれるようになった。



分類 県指定天然記念物(平成13年指定)
レア度 ★★
属性 植物
所在地 新宿(無量院石重寺)

夫婦梅は、その名の通り八重咲きの花二つが並んで咲き実を結ぶ貴重な品種であることから、昭和14年に埼玉県天然記念物に指定された。推定樹齢約400年といわれ、高さ約11m、根周り2.4mもあった。しかし平成元年に枯死。平成13年に指定が解除された。現在は、貴重な品種である夫婦梅の性質を引き継いでいる二世が県指定天然記念物に指定されている。

No.0004 夫婦梅

夫婦梅の開花時期は他の梅よりも1か月ほど早く、1～2月頃には優美な花を咲かせる。



2つ並んだ梅の実



よく見ると花が2つ並んでいる